



文明の十字路から

本田 徹 (著)

連合出版 / 発行

価格： ￥ 1,575

内容

イスラムの伝統と西欧文明の間に揺れるアラブの若者たち、女性、性と結婚と信仰と—青年海外協力隊の一員としてチュニジアの地に赴いた著者が、人々の生活の内側からその生と死を語るとともに、発展途上国から医療のあり方を問う。

医学生・研修医のために私が選ぶこの10冊の1冊
(若月俊一)

第1部 チュニジアという国(チュニジアとの出会い)

アラブと西欧の間

国内の諸問題

若者たち

人びとの暮らし

第2部 チュニジアから医療を考える(発展途上国の医療を考える)

チュニジアの医療

ジェルバ地方病院

もう一人のチュニジア人—ユーヌスイ氏のこと

ジェルバから佐久へ—あとがきに代えて)